



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月31日

上場会社名 平河ヒューテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5821 URL <https://www.hewtech.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役 執行役員社長 （氏名）篠 祐一
 問合せ先責任者 （役職名）経理部長 （氏名）星 一昭 TEL 03-3457-1400
 半期報告書提出予定日 2025年11月6日 配当支払開始予定日 2025年12月9日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	18,091	12.9	2,124	69.9	2,031	55.3	1,805	79.5
2025年3月期中間期	16,020	12.3	1,251	61.9	1,307	18.2	1,005	48.5

（注）包括利益 2026年3月期中間期 2,240百万円（6,697.7%） 2025年3月期中間期 32百万円（△98.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	122.38	—
2025年3月期中間期	68.19	—

（注）当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式を無償で割当てています。前連結会計年度の期首に当該株式割当が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	54,254	41,870	75.0
2025年3月期	47,106	38,719	82.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 40,704百万円 2025年3月期 38,719百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	22.00	—	23.00	45.00
2026年3月期	—	23.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	24.00	47.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式を無償で割当てています。2025年3月期は、当該株式割当前の実際の配当金の額を記載しております。2026年3月期については、株式割当後の内容を記載しております。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	18.5	4,000	76.4	4,000	56.4	3,300	62.9	222.89

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2025年10月31日）公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式を無償で割当てています。2026年3月の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式割当の影響を考慮しております。

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社、（社名）吉野川電線株式会社、除外 1社、（社名）

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	17,627,800株	2025年3月期	17,627,800株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	2,822,236株	2025年3月期	2,878,142株
-------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	14,752,183株	2025年3月期中間期	14,749,658株
-------------	-------------	-------------	-------------

（注）当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式を無償で割当てています。前連結会計年度の期首に当該株式割当が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

（参考）個別業績の概要

2026年3月期第2四半期（中間期）の個別業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	5,249	1.8	245	51.9	499	152.2	424	110.2
2025年3月期中間期	5,156	△9.9	161	△59.4	197	△70.8	202	△61.5

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	28.79	—
2025年3月期中間期	13.70	—

（注）当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式を無償で割当てています。前連結会計年度の期首に当該株式割当が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	24,773	16,843	68.0
2025年3月期	21,980	16,380	74.5

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 16,843百万円 2025年3月期 16,380百万円

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項は、第2四半期（中間期）決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、11月12日（水）に決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得の改善を背景に緩やかな回復がみられましたが、米国の通商政策に起因する不透明感が依然として続いております。

海外経済においては、米国では景気拡大のペースが緩やかとなり通商政策や高い金利水準の継続による下振れリスクが生じています。欧州では景気持ち直しのテンポが緩やかになり、米国の通商政策に起因する不透明感が続いております。中国では各種政策の効果がみられるものの、景気は足踏み状態にあります。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、車載市場において米国での関税政策による不透明感が続きました。半導体市場については生成AI用途向けへの積極的な設備投資の動きが見られた一方で民生エレクトロニクス向けの設備投資は低調に推移しました。産業機器市場では一部に持ち直しの動きがみられました。

このような環境の下、売上高は180億91百万円（前年同期比12.9%増）となりました。売上高が増加したことにより、営業利益は21億24百万円（同69.9%増）となりました。経常利益は20億31百万円（同55.3%増）となりました。吉野川電線株式会社の株式を取得し連結の範囲に含めたことによる負ののれん発生益が439百万円発生したことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は18億5百万円（同79.5%増）となりました。

主なセグメント別の業績は、次のとおりです。

（電線・加工品）

車載用ケーブルは新規量産品により売上が堅調に推移しました。エネルギー産業関連ケーブルは北米市場の旺盛な需要等を背景に好調に推移しました。半導体製造装置は復調傾向にありますが、回復は生成AI用途向けが中心であり軟調な推移となりました。医療用ケーブルは新製品が堅調な推移をみせ、産業機器用ケーブルは、7月より吉野川電線株式会社の連結とFA分野の一部回復傾向を受け増加しました。売上高は153億71百万円（前年同期比12.3%増）となりました。主に売上の増加等により、セグメント利益は20億77百万円（同75.1%増）となりました。

（電子・医療部品）

電子の分野では、ネットワーク機器において専門用途品の好調な推移に加え大型OEM案件により増加しました。医療部品の分野においては、得意先在庫調整の影響もあり売上が減少しました。以上により、売上高は27億8百万円（前年同期比17.0%増）となりました。売上の増加等により、セグメント利益は5億32百万円（同3.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ71億47百万円増加し、542億54百万円となりました。主な増加は、吉野川電線株式会社の株式を取得し連結の範囲に含めたこと等により、受取手形、売掛金及び契約資産19億75百万円、現金及び預金15億89百万円、投資その他の資産10億9百万円、原材料及び貯蔵品8億99百万円、仕掛品6億5百万円であります。

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ39億97百万円増加し、123億84百万円となりました。主な増加は、長期借入金17億79百万円、支払手形及び買掛金6億11百万円、短期借入金4億67百万円であります。

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ31億50百万円増加し、418億70百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する中間純利益18億5百万円、非支配株主持分11億65百万円であり、主な減少は、資本剰余金4億15百万円、利益剰余金の配当3億23百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の業績予想につきましては、2025年7月31日公表の連結業績予想を変更しております。詳細については、本日（2025年10月31日）公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,778	15,367
受取手形、売掛金及び契約資産	7,989	9,964
有価証券	159	180
商品及び製品	2,567	2,847
仕掛品	835	1,440
原材料及び貯蔵品	4,012	4,912
その他	768	589
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	30,099	35,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,740	5,097
機械装置及び運搬具（純額）	6,020	6,520
土地	894	1,364
建設仮勘定	615	156
その他（純額）	719	755
有形固定資産合計	12,989	13,893
無形固定資産	898	941
投資その他の資産	3,118	4,128
固定資産合計	17,006	18,963
資産合計	47,106	54,254

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,695	2,307
短期借入金	1,168	1,636
未払法人税等	206	490
賞与引当金	66	299
その他	1,563	1,750
流動負債合計	4,700	6,483
固定負債		
長期借入金	1,781	3,560
退職給付に係る負債	1,747	1,885
役員退職慰労引当金	58	87
その他	98	366
固定負債合計	3,686	5,900
負債合計	8,386	12,384
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,555	1,555
資本剰余金	1,412	997
利益剰余金	30,969	32,451
自己株式	△2,340	△1,845
株主資本合計	31,596	33,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,040	1,340
為替換算調整勘定	6,070	6,198
退職給付に係る調整累計額	10	7
その他の包括利益累計額合計	7,122	7,546
非支配株主持分	—	1,165
純資産合計	38,719	41,870
負債純資産合計	47,106	54,254

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上高	16,020	18,091
売上原価	12,262	13,358
売上総利益	3,758	4,733
販売費及び一般管理費	2,507	2,608
営業利益	1,251	2,124
営業外収益		
受取利息	120	113
受取配当金	22	20
その他	29	35
営業外収益合計	172	169
営業外費用		
支払利息	17	25
為替差損	75	192
その他	21	44
営業外費用合計	115	262
経常利益	1,307	2,031
特別利益		
負ののれん発生益	—	439
特別利益合計	—	439
特別損失		
貸倒引当金繰入額	2	—
特別損失合計	2	—
税金等調整前中間純利益	1,305	2,471
法人税、住民税及び事業税	303	422
法人税等調整額	△3	236
法人税等合計	299	658
中間純利益	1,005	1,812
非支配株主に帰属する中間純利益	—	6
親会社株主に帰属する中間純利益	1,005	1,805

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日）
中間純利益	1,005	1,812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	304
為替換算調整勘定	△1,008	127
退職給付に係る調整額	△5	△3
その他の包括利益合計	△972	428
中間包括利益	32	2,240
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	32	2,229
非支配株主に係る中間包括利益	—	11

（3）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式702,364株を無償で割当ていたしました。2025年6月27日開催の取締役会に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式57,400株を処分いたしました。

これらの結果等により、当中間連結会計期間末において、資本剰余金は9億97百万円、自己株式は18億45百万円となっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間（自2024年4月1日至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,692	2,315	16,007	12	16,020	—	16,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	—	7	—	7	△7	—
計	13,700	2,315	16,015	12	16,028	△7	16,020
セグメント利益	1,186	514	1,701	10	1,712	△460	1,251

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4億60百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△4億54百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自2025年4月1日至2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,371	2,708	18,079	12	18,091	—	18,091
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	1	—	1	△1	—
計	15,373	2,708	18,081	12	18,093	△1	18,091
セグメント利益	2,077	532	2,609	11	2,620	△495	2,124

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4億95百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△4億95百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（重要な負ののれん発生益）

第1四半期連結累計期間の電線・加工品セグメントにおいて、吉野川電線株式会社の株式を取得し同社を連結の範囲に含めたことにより負ののれん発生益を4億39百万円計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため上記セグメント利益には含まれておりません。また、負ののれん発生益の金額は、当中間連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。